



柴田大知

現状

マイネル軍団の主戦

もはやマイネル軍団専属ジョッキーと言っても良

いかもしれません。勝ち星のほぼすべてがラフィアンの馬やその総帥である岡田繁幸氏関連の馬によるもので、久々の重賞勝ちとなったフェアリースのスマイルカナも同氏の所有馬でした。恐らく騎乗に関するオーダーに忠実なのでしようが、現状買える騎手かと言われると首をかしげざるを得ない。マイネル軍団に見切りを付けられない限りは安泰なのかもしれませんが、完全に依存状態なので、両者の関係に何かあればたちまち騎手生命の危機になりそうです。

特徴

逃げ残りの穴

追えない

肝心の騎乗に関しても現状は買いづらい。たまに出す穴も、もはや柴田大知騎手Ⅱヘタという認識が一般化し

ており、それゆえに人気にならない、いわゆる「マッチポンプ穴」が大半です。強いて言えば、もともとスピードのある馬を先行させて残すのが穴パターンでしょうか。スマイルカナでの逃げ切りも同様で、ジャパンカップ当日のウエルカムSで逃げ粘ったプレミオテラーや、逃げてたびたび好走しているマイネルズイーガーなども同パターンです。また、追える騎手ではなく、馬上でフラつくケースも多く、基本は外を回します。

象徴的だったのはハニージェイドに騎乗した際のレースぶりです。同馬は通算5勝を挙げたオープン馬でしたが、柴田大知騎手は3度騎乗しすべて着外。その結果のみならず内容がお粗末で、他騎手では馬群を突ける馬なのですが、柴田大騎手だと控えて外に出すことしかできない。馬をコントロールできていないからでしょう。その後松岡騎手に乗り替わり、8番人気の低評価ながら内を突いて勝利したのを見てそのことを確信しました。

チューリップ賞のスマイルカナのように、丹内騎手との入れ替わりも多く見られますが特徴に差はありません。マイネルサーパスのように両騎手が乗るとイマイチ、別騎手で勝ち切るケースも見られます。

| | 着度数 | 勝率 | 連対率 | 複勝率 | 単回値 | 復回値 |
|------|--------------------------|-----|-----|------|-----|-----|
| 2018 | 30 - 49 - 58 - 675 / 812 | 3.7 | 9.7 | 16.9 | 37 | 58 |
| 2019 | 18 - 33 - 45 - 565 / 661 | 2.7 | 7.7 | 14.5 | 62 | 71 |
| 2020 | 4 - 4 - 2 - 80 / 90 | 4.4 | 8.9 | 11.1 | 142 | 74 |

トップジョッキー

トップを狙う中堅騎手

個性豊かなベテラン

新時代を担う若手

馬券に直結する注目騎手

脳を固める40人